

根據「太平記」
對當時的記載

在全國
如日中天的
北條氏一族

短短四十二天
便全軍覆沒

「逃げ上手の若君」
にしょうずわかぎみ

這場
聲勢浩大的
政變劇

若從頭到尾
都順遂劇本

那劇作家
就是天才

逃げ上手の若君

第5話 狩獵1333

まつ い ゆう せい
松井優征

微博首發◆禁轉微信◆營利&講漫禁用

在都城・京都
受到熱烈歡迎

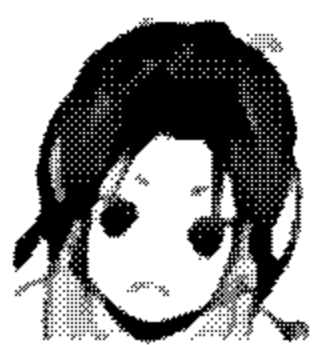
消滅
鎌倉幕府的
足利高氏

對於後醍醐天皇統治時

長期受鎌倉幕府
壓制的朝廷來說：

年輕的英雄
就是解放者

人物紹介



北条時行

「逃げ」を武器に足利尊氏への復讐を圖つ。
強行着相手にはクサい所を突いて返せる。



諏訪頼重

諏訪大社の当主。時行に仕えてサポートする。
インチキ臭いのはるか未来まで見えるらしい。

微博首發◆禁轉微信◆營利&講漫禁用

此乃大義
足利高氏

為表彰你的功績

後醍醐天皇

朕將名中一字
賜予你

今日起

你便名為
「足利尊氏」

謝主隆恩

託你的福
天下又回到了
朕的手中

若新朝廷中
有你中意的官職
儘管說來

在下只是
一介武夫

筆墨工作
著實無法勝任

但相對地

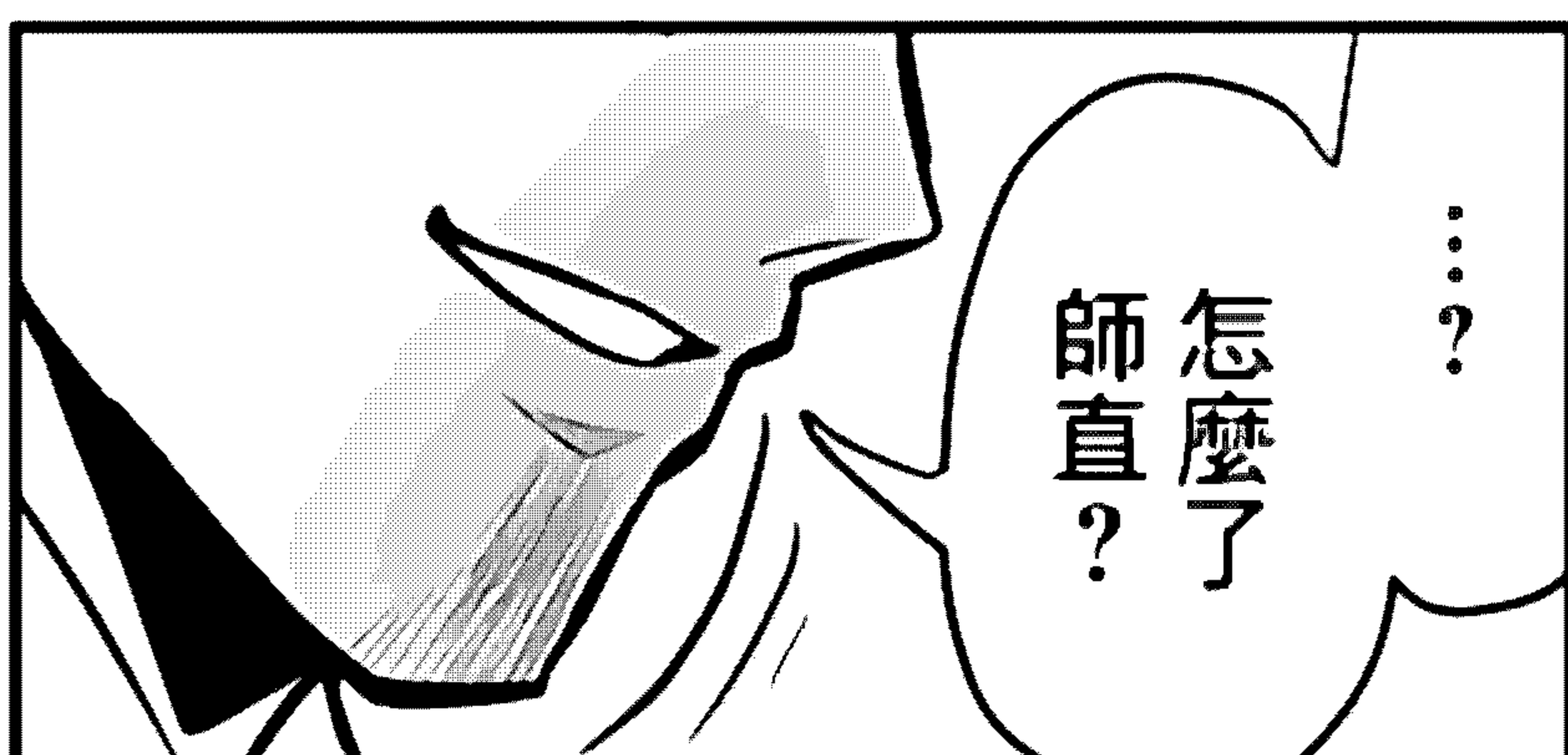
我身後的
這些家臣

都是內心澄澈
智勇雙全的人物
跟著我未免屈才

他們若能在朝廷
擔任一官半職
那我與有榮焉

首發微博@混成連合會
測試群：648466051
翻譯：我不做人了
校對：古々台殘丘
嵌字：澤澤、桐ri
監製：三十一



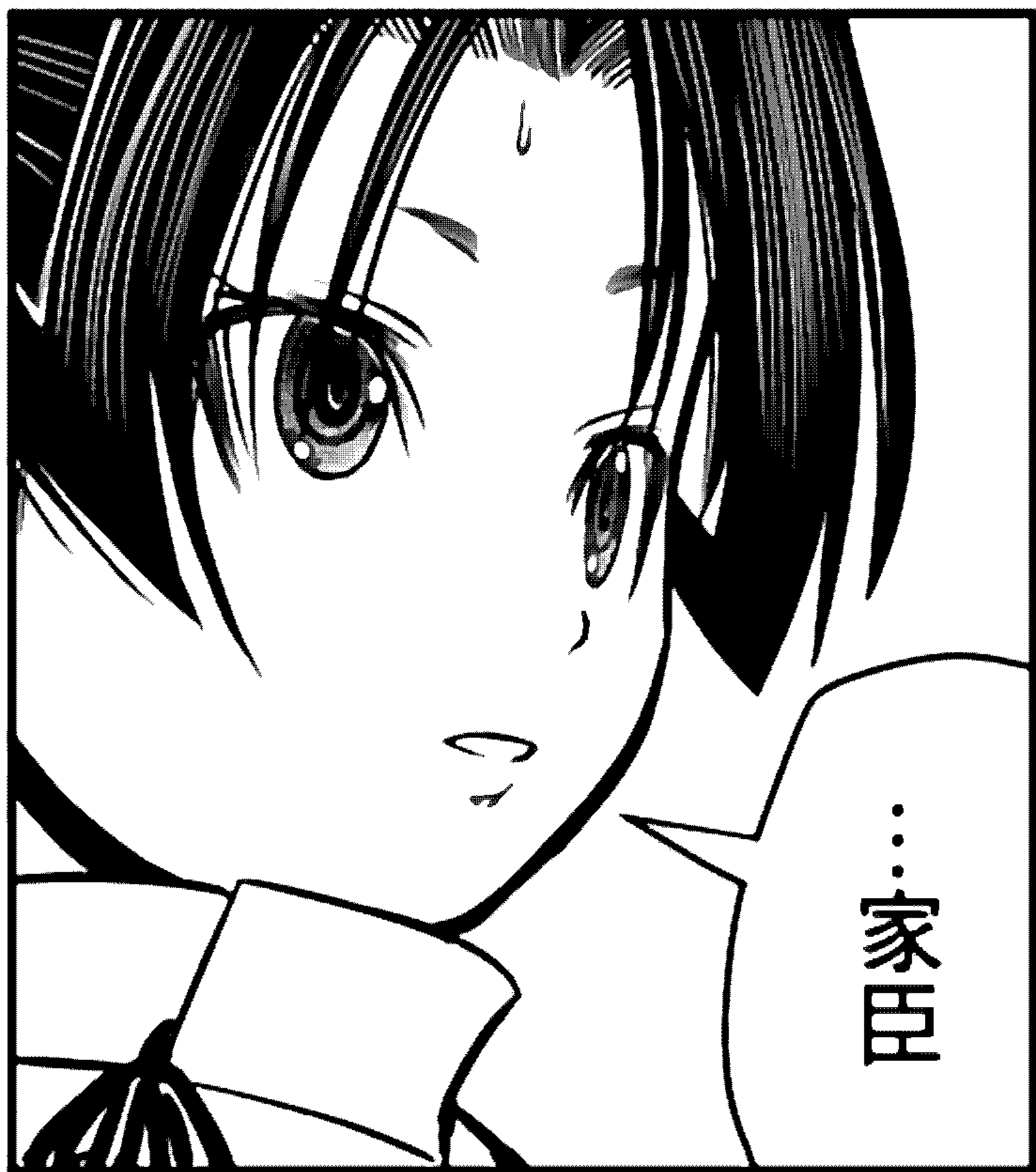


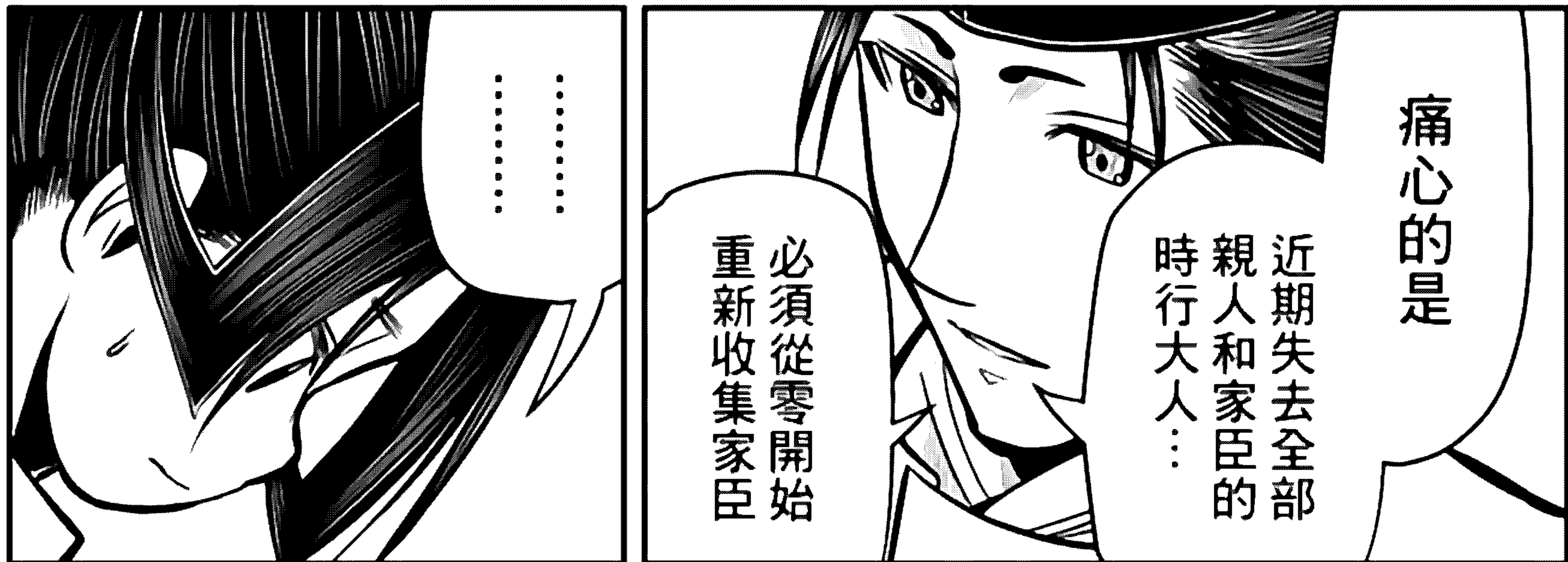


微博首發◆禁轉微信◆營利&講漫禁用

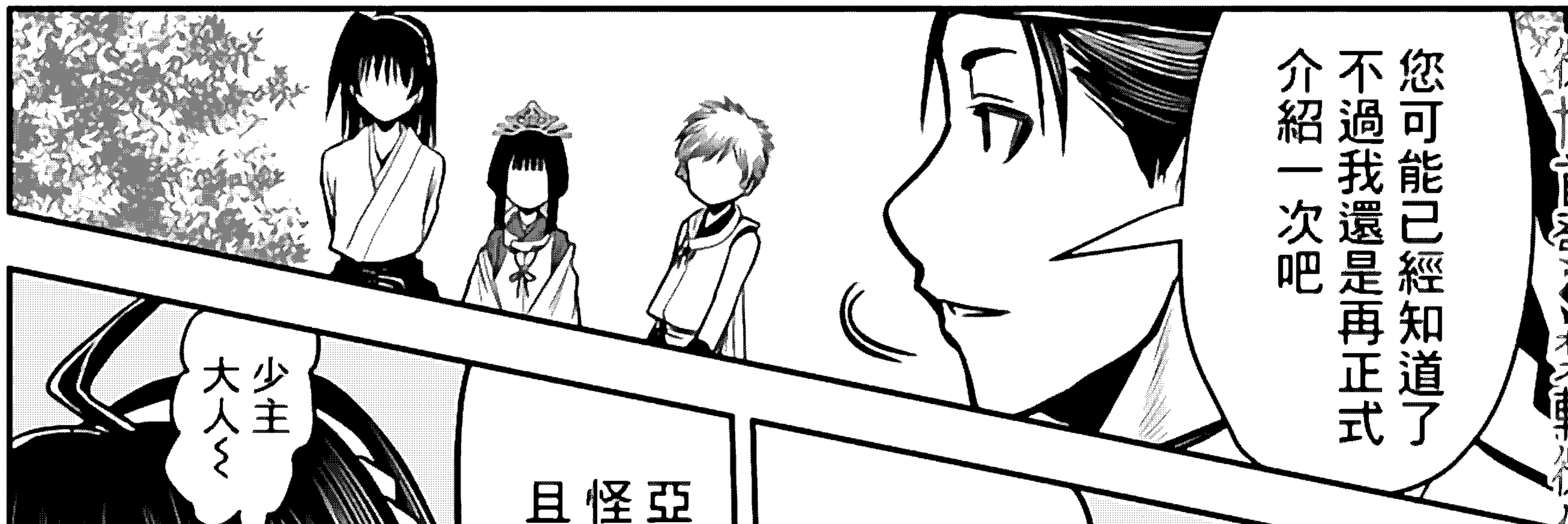
足利尊氏
及其黨羽…

開始
一步步侵蝕





必須從零開始
重新收集家臣



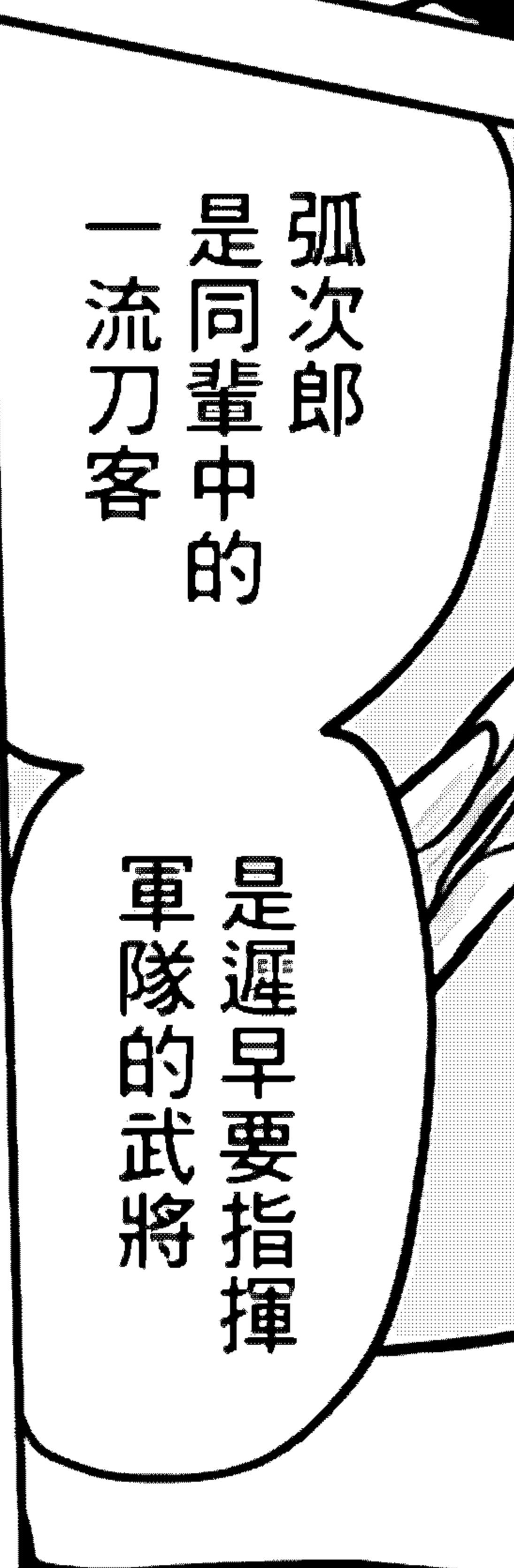
您可能已經知道了
不過我還是再正式
介紹一次吧



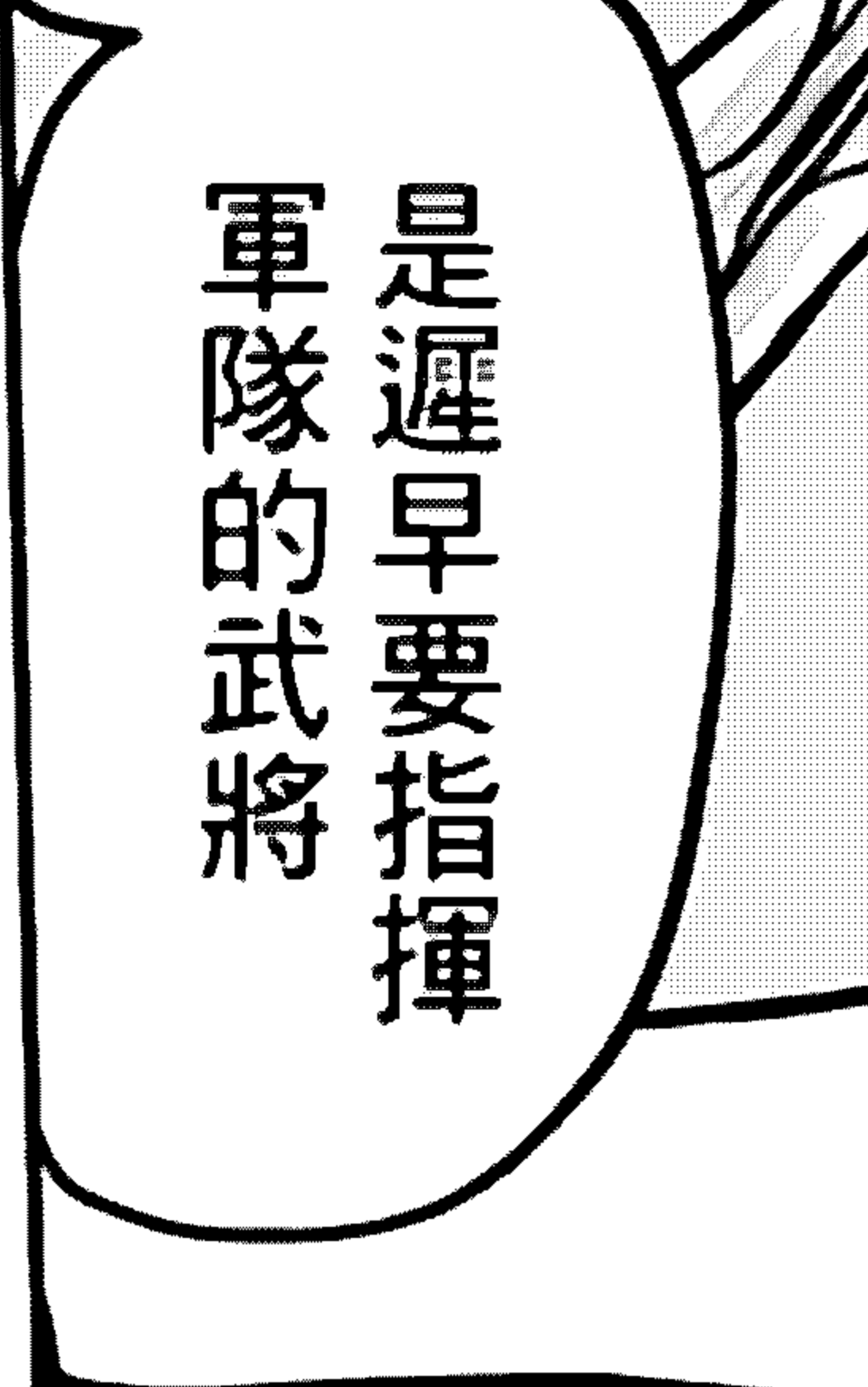
少主
大人...

亞也子
怪力無雙
且多才多藝

會以便女身份
一同上陣



弧次郎
是同輩中的
一流刀客



是遲早要指揮
軍隊的武將



啲少主

微博首發◆禁轉微信◆營利&講漫禁用

零細心周到
會使用各種秘術

是管理全家
大小事宜的管家

微博首發◆禁轉微信◆

雖說這三人
都和你同齡…

你也和
我同齡？

好高啊

您喜歡高個子
女生嗎？

但我有足夠的
信心舉薦他們

營利&講漫禁用

請您先
和他們打好關係
充分活用
他們的能力吧

自幼便一起
情同手足地
長大…

將來他們定會
成為您忠心
可靠的家臣

今後若是找到
優秀的人才…

也儘管邀對方
加入
逐步增加黨羽





未來好像
管這種走向
叫「王道展開」
哦！

……這樣嗎

誰知道啊



接下來
幹什麼呢
少主？

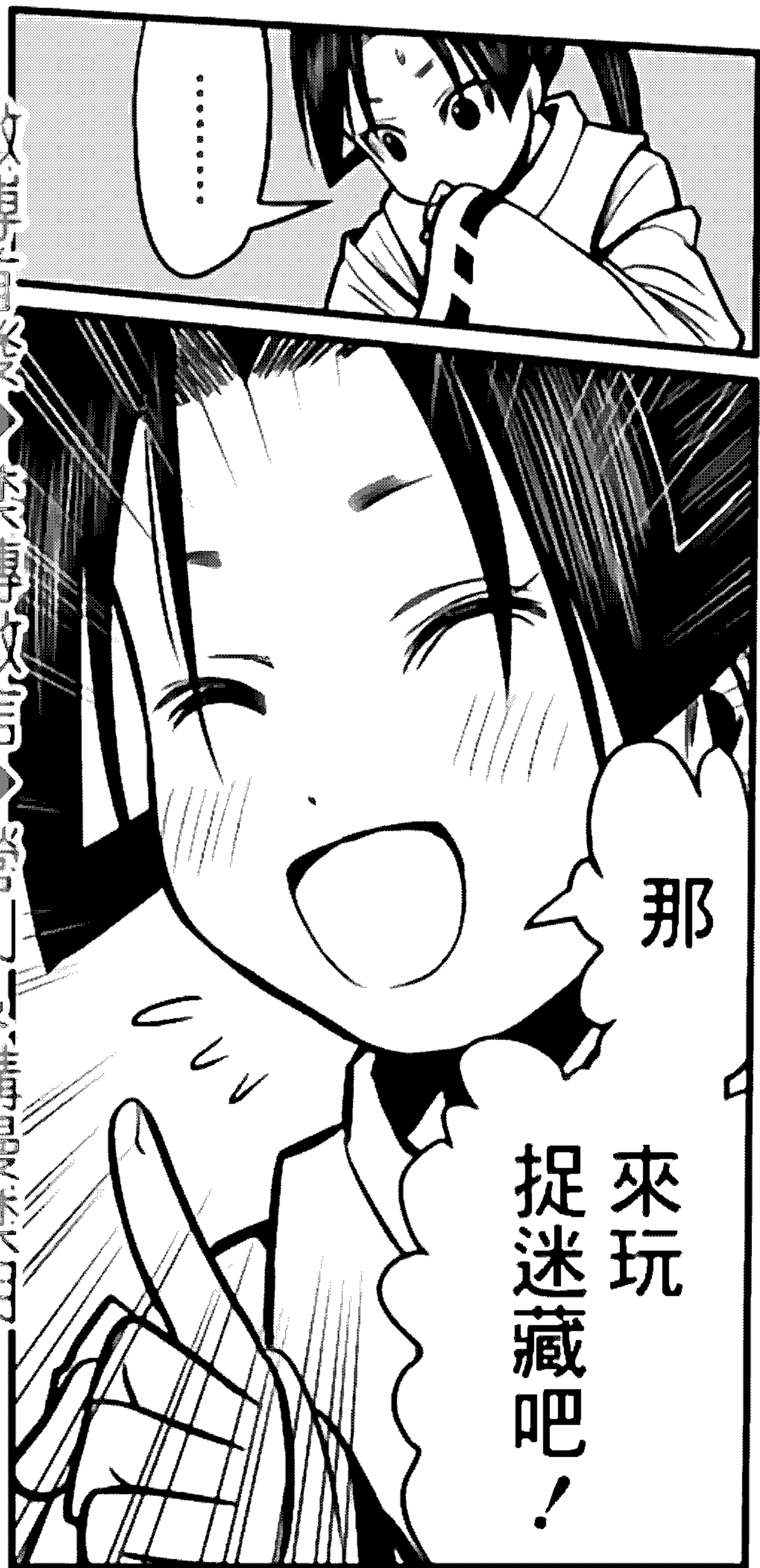
只要您有令
我們什麼
都願意做



什麼都行……嗎

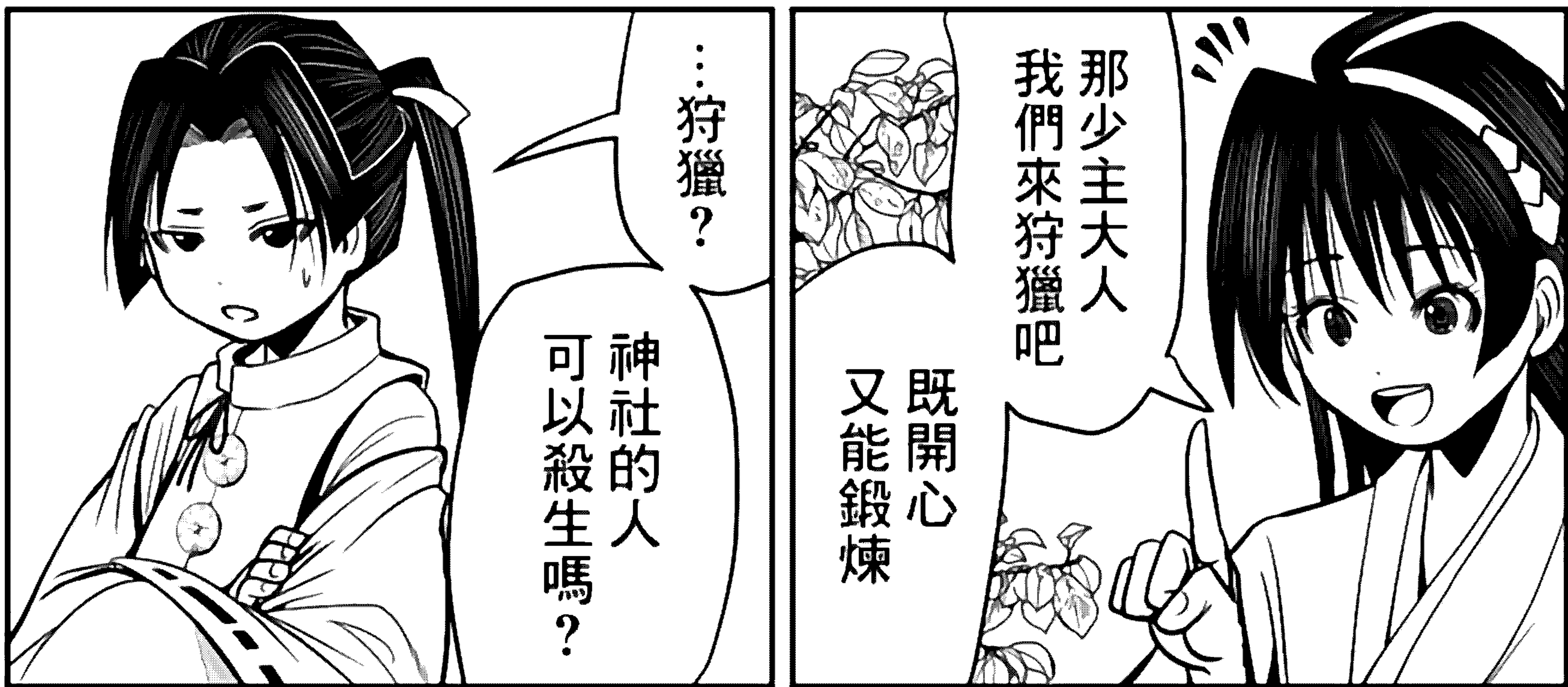
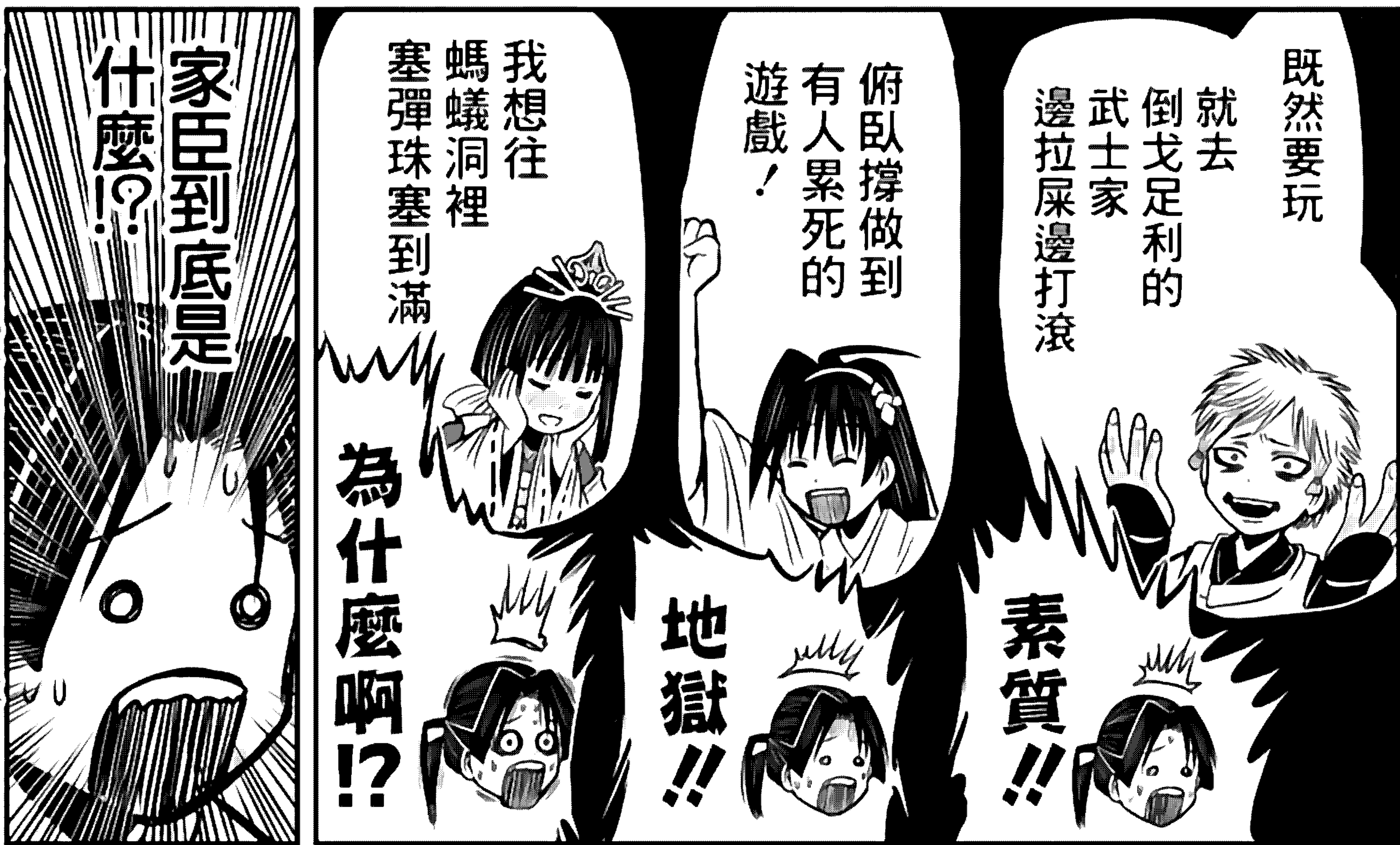
當然

我們是家臣啊



那

來玩
捉迷藏吧！



時行大人

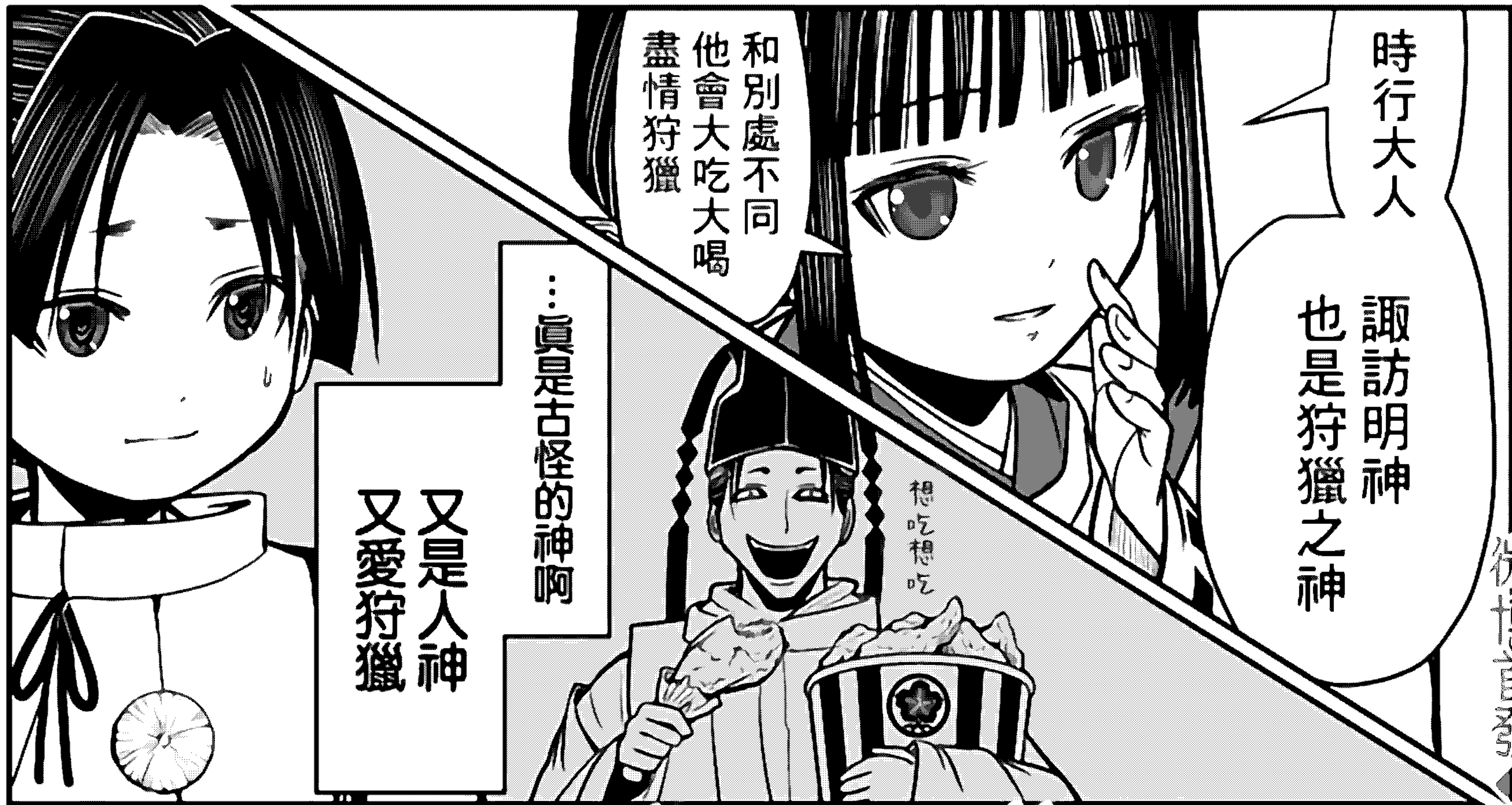
諏訪明神
也是狩獵之神

想吃想吃

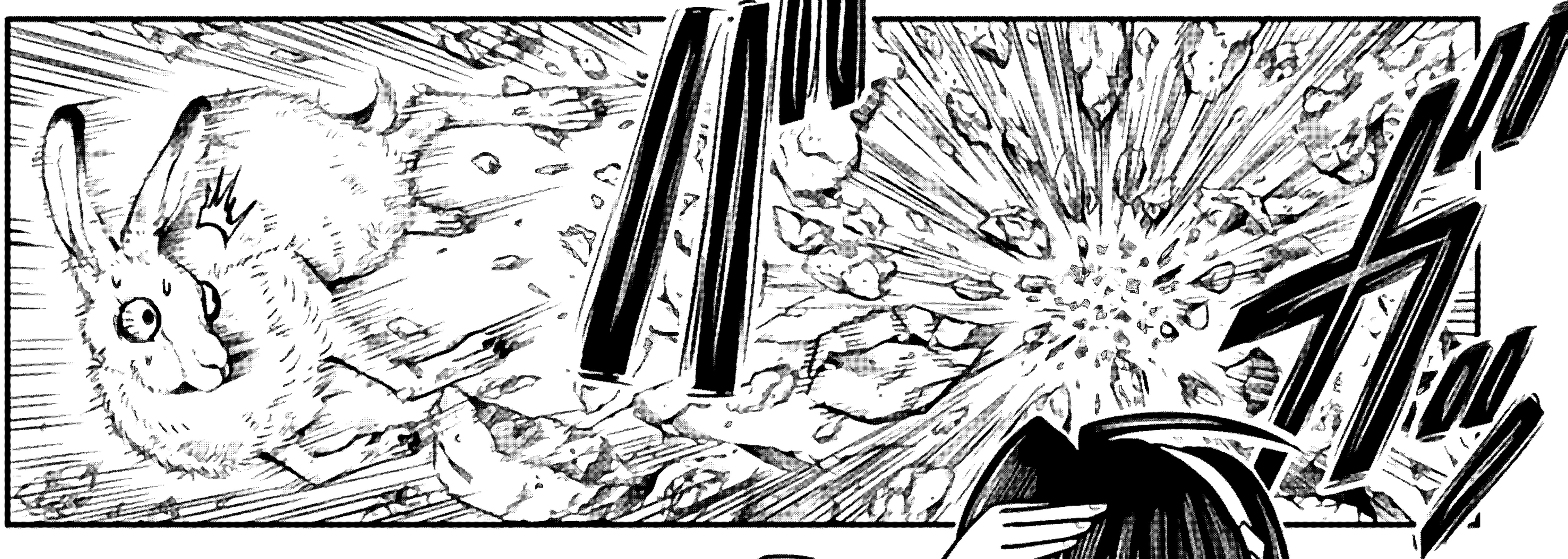
和別處不同
他會大吃大喝
盡情狩獵

...真是古怪的神啊

又是人神
又愛狩獵







哎呀

小蹦蹦

動作好快

怪物

說得沒錯

她好幾次用那招
把兔子化成血霧了



賴重大人

時行大人一行
去狩獵了

我·看·見·了·

也看見了
他們會迎來
怎樣的試煉

ケケケ

微博首發◆禁轉微信◆營利&講漫禁用



在饑荒不止
戰爭和殺戮
頻發的
鎌倉末期

對於野獸來說
比起莊稼和果實

人類是更容易
到嘴的美食



這隻野獸同樣
記得人肉的滋味

從而
也學會了
狩獵人類



這樣的野獸
對這個時代的人
來說
無異於魔獸



：鄰國有
這樣一則傳聞

吃人的巨大牛鬼
會在山中出沒





它很明顯
把我們
當成獵物了
你們有獵過
那麼大隻的嗎？

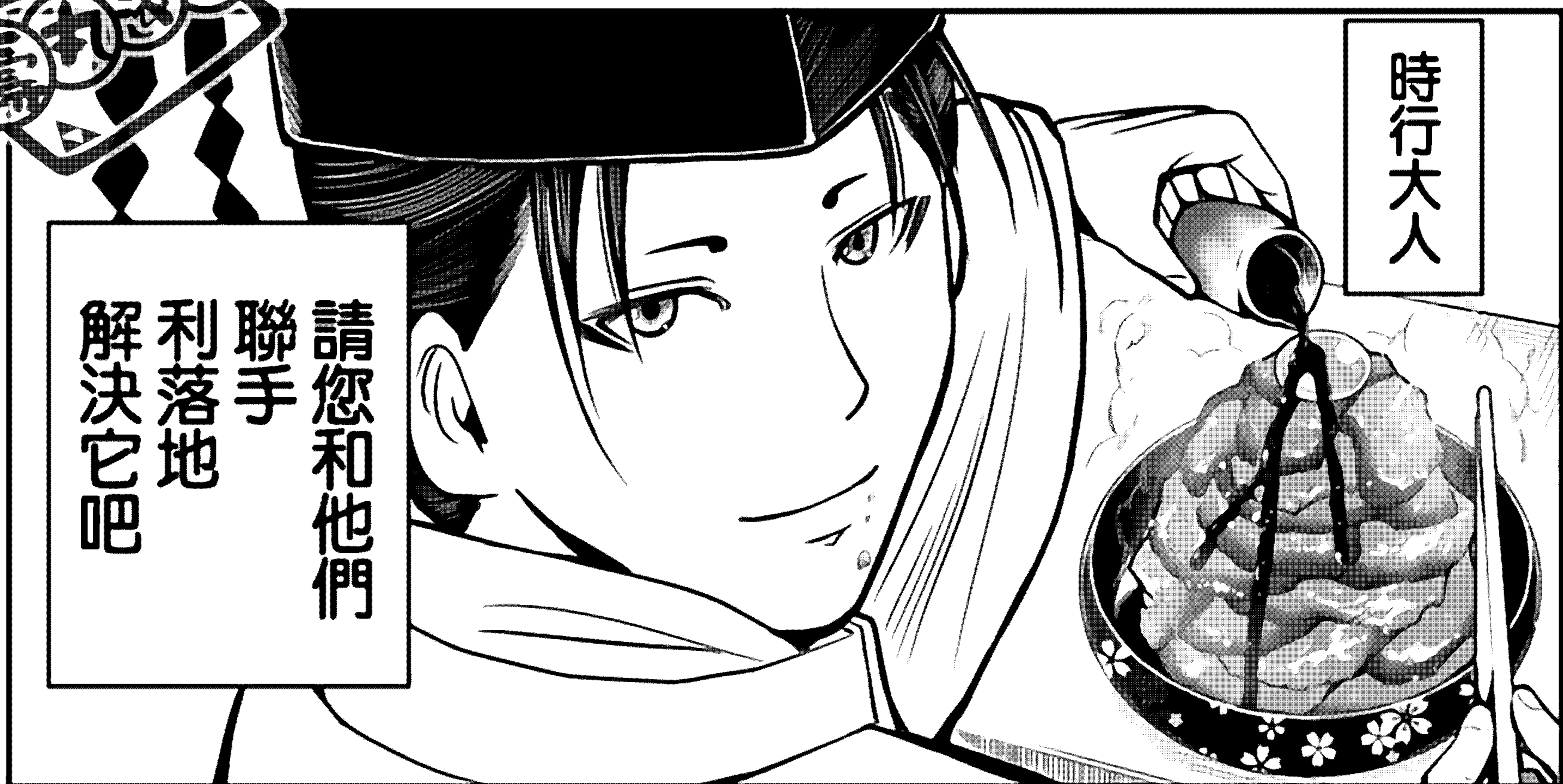
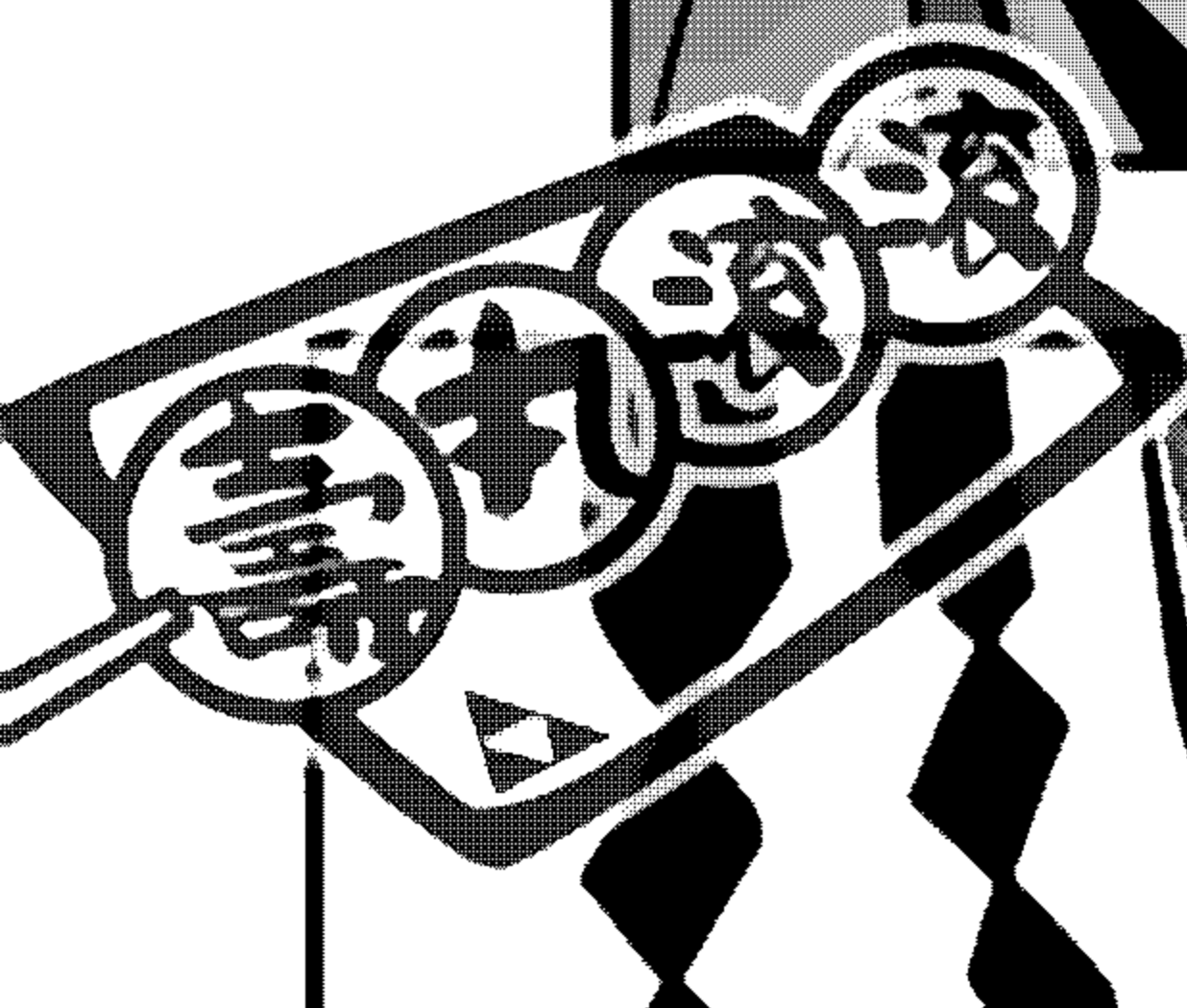
沒有啊——

這麼大的塊頭
箭和刀都無法
傷到要害



是征服了衆多
遠比它更兇猛的
野獸
黨羽的男人

您的仇敵



時行大人

請您和他們
聯手
利落地
解決它吧

要來了……！

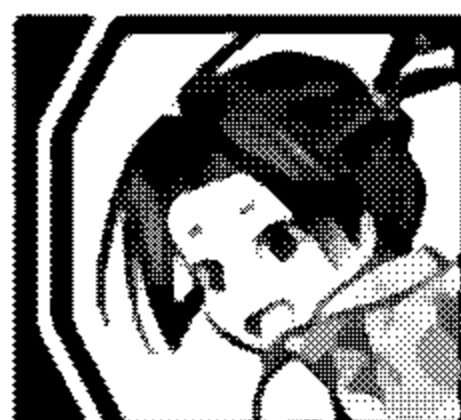
南北朝捉迷藏

★第2隻鬼現身！！
和家臣共同挑戰！！

半鬼

半鬼

微博首發◆禁轉微信◆營利&講漫禁用



少主溜得快

第5話
本話完

解説上手の若君

前ページまでの第5話にて高氏が尊氏に。今回は改名の解説！

解説 本郷和人

1960年亀有生まれ。歴史の研究所である東京大学史料編纂所の教授。おっちょこちょいでテレビや雑誌にも出演する。

改名について

いま疑問を解消します

問

「**志**」 当時は改名ってよくあることなの？

鎌倉武士たちはそれほど教養がなく、漢字が読めない、書けないなんて人も少なくなかった。だから特別な名前にしよう、なんて考える人はいなかった。何だかみんな同じような名前なのは、そのせいです。それから「通字」といって、その家の人が共有する漢字がありました。北条家は「時」、足利家は「氏」、房総一の千葉家だと「胤」ですね。

主人は家来に「おまえに私の名前の一字をやろう」と、名を与えることがありました。これはたいへんな名譽で、「ありがたき幸せ」と改名するわけです。足利尊氏は、元服するときに、北条本家の高時から「高」をもらって、足利代々の「氏」と組み合わせ、高氏と名乗りました。幕府を滅ぼすと、後醍醐天皇の名「尊治」の一字をもらって「尊氏」になったわけです。天皇から名をもらった人なんて、彼くらいじゃないかなあ。



↑今話で高氏は朝廷の信頼を得て尊氏に。人物紹介がややこしい。

問

「**式**」 当時の朝廷はどんな存在だったの？

朝廷はずっと昔からあったわけですが、鎌倉幕府ができる、ただん力弱くなりました。とくに1221年、後鳥羽上皇は「鎌倉幕府を滅ぼせ」と倒幕の挙兵をしたのですが、かえって敗れて隠岐島に流されました。「承久の乱」です。勝利者である幕府は、朝廷から軍事力を取り上げました。ただし幕府は戦いには秀でていたものの、行政能力も、文化面でも未熟でした。経済についても、よく分かりません。政權としては大先輩である朝廷に、いろいろ学ばねばならない。それで両者は「東は幕府、西は朝廷」といった感じで併存したのです。このとき、軍事では幕府にかなわないと理解した朝廷は、天皇が先頭に立って行政と司法の能力を磨いていきました。ですから鎌倉時代後半の天皇は名君ぞろい。その中から、後醍醐天皇が誕生しました。



お陰で天下は朕の元へと戻ってきた

新しき朝廷でやってみたら官職があれば何なりと申せ

→作中では鋭い眼光(?)を飛ばすのみの後醍醐天皇。今後の活躍に期待。

微博自發◆禁轉微信◆營利&講漫禁用

卷末語

總是沒法實現在家工作，
辛苦助手們了。

翻譯

我不做人了

校對

古々谷殘丘

嵌字

澤澤
桐ri

測試群

648466051

歡迎加入漢化

首發微博
@混成連合會

壽丸滾滾漢化

第五話

少主溜得快

監製

三十二